

# 企業景況

## 1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

(1) 福岡県の企業景況判断（平成30年4～6月期）

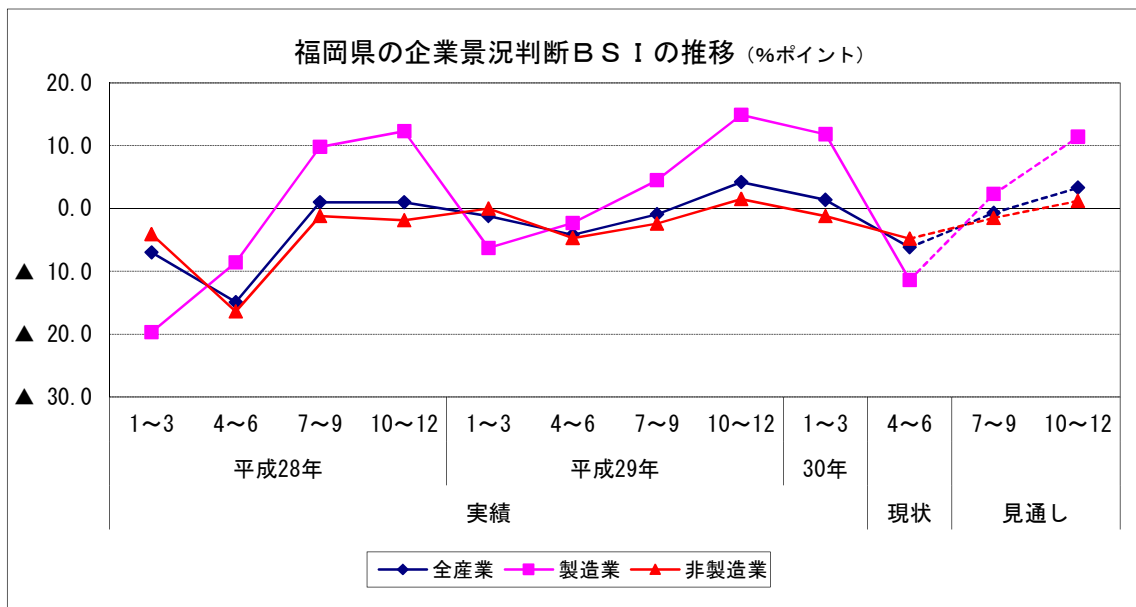
全産業：「下降」超に転じている  
 製造業：「下降」超に転じている  
 非製造業：「下降」超幅が拡大している

(原数値)

(%ポイント)

法人企業景気予測調査			景況判断BSI（福岡県）			景況判断BSI（北部九州3県）			
			全産業	業種別		全産業	規模別		
				製造業	非製造業		大企業	中堅企業	中小企業
平成28年 (2016)	1～3月期	実績	▲ 7.0	▲ 19.7	▲ 4.1	▲ 6.4	▲ 0.7	▲ 6.1	▲ 8.9
	4～6月期		▲ 14.9	▲ 8.6	▲ 16.4	▲ 17.3	▲ 15.6	▲ 22.7	▲ 14.9
	7～9月期		1.0	9.8	▲ 1.2	▲ 1.1	7.4	3.4	▲ 7.9
	10～12月期		1.0	12.3	▲ 1.9	2.7	2.7	6.8	0.3
平成29年 (2017)	1～3月期	実績	▲ 1.2	▲ 6.3	0.0	▲ 2.4	0.7	▲ 0.6	▲ 5.0
	4～6月期		▲ 4.2	▲ 2.3	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 3.3	▲ 5.2	▲ 6.2
	7～9月期		▲ 0.9	4.5	▲ 2.4	0.0	2.6	9.2	▲ 6.8
	10～12月期		4.2	14.9	1.5	5.4	7.9	11.3	0.7
平成30年 (2018)	1～3月期	現状	1.4	11.8	▲ 1.2	0.0	2.0	2.2	▲ 2.3
	4～6月期		▲ 6.2	▲ 11.4	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 8.3	▲ 7.6
	7～9月期	見通し	▲ 0.7	2.3	▲ 1.5	1.4	3.3	3.6	▲ 1.0
	10～12月期		3.3	11.4	1.2	4.9	7.3	7.3	2.1

※ B S I = 「上昇」 - 「下降」社数の構成比



注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 平成30年5月15日
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。  
 対象企業：692社（うち、大企業（資本金10億円以上）154社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）202社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が336社）。  
 製造業 171社 非製造業 521社
- 回収企業数 大企業150社（回収率97.4%）、中堅企業193社（同95.5%）、中小企業288社（同85.7%）  
 回収企業 631社 《うち福岡県分 418社（製造業 88社 非製造業 330社）》

## 企業景況

### 2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）

#### (1) 中小企業の業況判断DI（平成30年4～6月期）

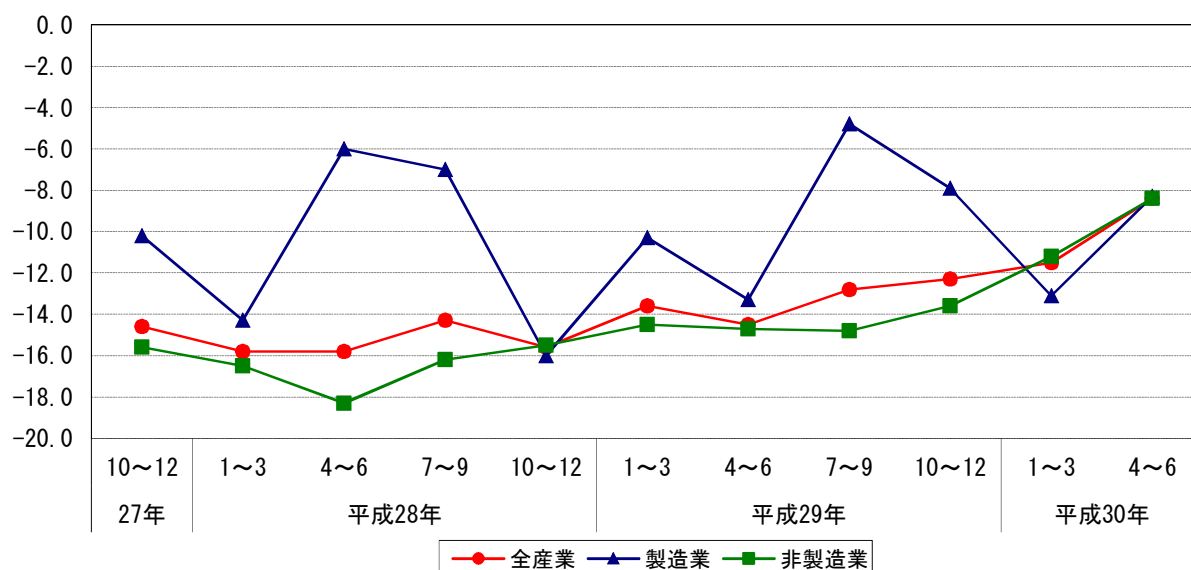
ア 全産業	▲ 8.4	、前期から	3.1ポイント	マイナス幅が縮小
イ 製造業	▲ 8.3	、前期から	4.8ポイント	マイナス幅が縮小
非製造業	▲ 8.4	、前期から	2.8ポイント	マイナス幅が縮小

前期比(季節調整値)

		全産業	製造業	非製造業
平成27年	10～12月期	▲ 14.6	▲ 10.2	▲ 15.6
	1～3月期	▲ 15.8	▲ 14.3	▲ 16.5
平成28年 (2016)	4～6月期	▲ 15.8	▲ 6.0	▲ 18.3
	7～9月期	▲ 14.3	▲ 7.0	▲ 16.2
	10～12月期	▲ 15.6	▲ 16.0	▲ 15.5
平成29年 (2017)	1～3月期	▲ 13.6	▲ 10.3	▲ 14.5
	4～6月期	▲ 14.5	▲ 13.3	▲ 14.7
	7～9月期	▲ 12.8	▲ 4.8	▲ 14.8
	10～12月期	▲ 12.3	▲ 7.9	▲ 13.6
平成30年 (2018)	1～3月期	▲ 11.5	▲ 13.1	▲ 11.2
	4～6月期	▲ 8.4	▲ 8.3	▲ 8.4

※毎年4-6月期に、前年以前の季節調整値の入れ替えを行っている

管内中小企業の業況判断DIの推移



資料：第152回中小企業景況調査（2018年4-6月期）結果から、福岡県分を使用

- 1) 調査時点 平成30年6月1日
- 2) 対象期間 平成30年4-6月期の業況判断
- 3) 調査対象 中小企業基本法に定義する、全国の中小企業

## 企業景況

### 3 『福岡県中小企業動向調査(小企業編)』 (日本政策金融公庫福岡支店調査結果)

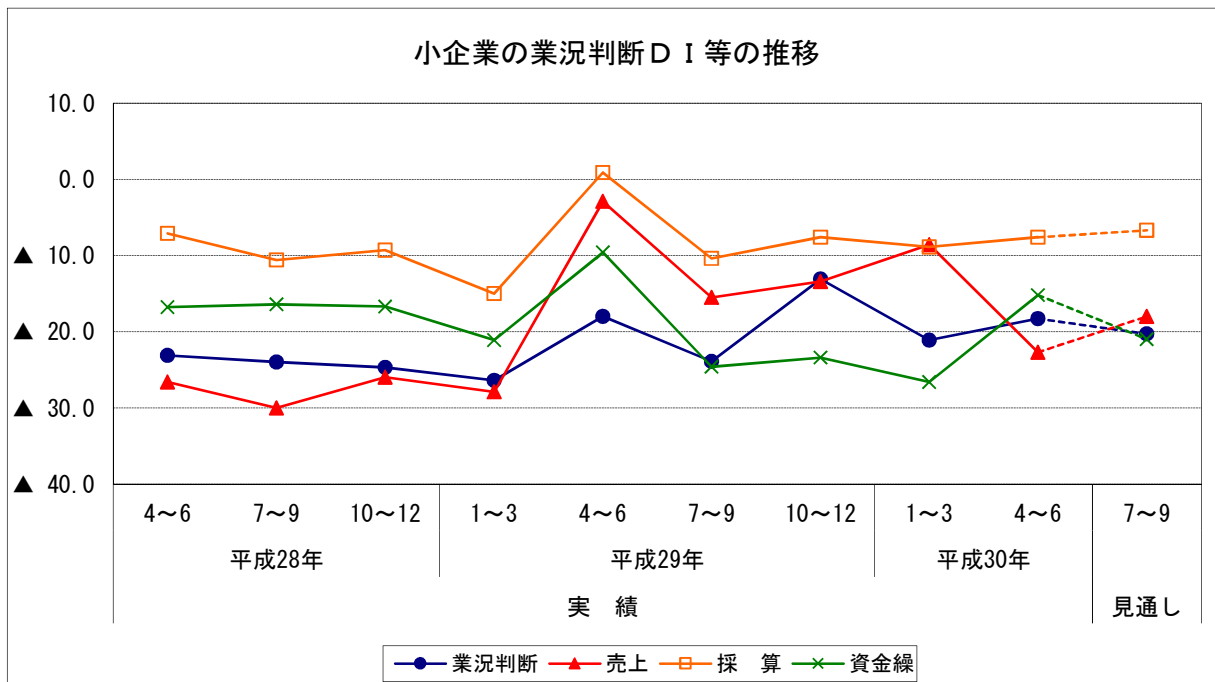
#### (1) 平成30年4～6月期の概況

前期に比べ、業況判断D Iはマイナス幅が2.8ポイント縮小し、売上D Iは14.1ポイント拡大した。

#### (2) 平成30年7～9月期の見通し

今期に比べ、業況判断D Iはマイナス幅が2.0ポイント拡大し、売上D Iは4.7ポイント縮小する見通しとなっている。

		業況判断	売上	採算	資金繰	
平成28年 (2016)	4～6月期	▲ 23.1	▲ 26.6	▲ 7.1	▲ 16.8	
	7～9月期	▲ 24.0	▲ 30.0	▲ 10.6	▲ 16.4	
	10～12月期	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 9.3	▲ 16.7	
平成29年 (2017)	1～3月期	▲ 26.4	▲ 27.9	▲ 15.0	▲ 21.1	
	4～6月期	▲ 18.0	▲ 2.9	0.9	▲ 9.6	
	7～9月期	▲ 23.9	▲ 15.5	▲ 10.4	▲ 24.6	
平成30年 (2018)	10～12月期	▲ 13.1	▲ 13.4	▲ 7.6	▲ 23.4	
	1～3月期	▲ 21.1	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 26.6	
	4～6月期	▲ 18.3	▲ 22.7	▲ 7.6	▲ 15.2	
	7～9月期	見通し	▲ 20.3	▲ 18.0	▲ 6.7	▲ 21.0



#### 注) 調査の概要

1) 調査時点 平成30年6月中旬

2) 調査対象 日本政策金融公庫福岡県内5支店取引先374企業

3) 有効回答数 214企業(有効回答率57.2%)

製造業(従業員20人未満)21企業、卸売業(同10人未満)20企業、小売業(同10人未満)55企業、飲食店・宿泊業(同10人未満)31企業、サービス業(同20人未満)50企業、建設業(同20人未満)28企業、その他(同20人未満)9企業

## 企業景況

### 4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）

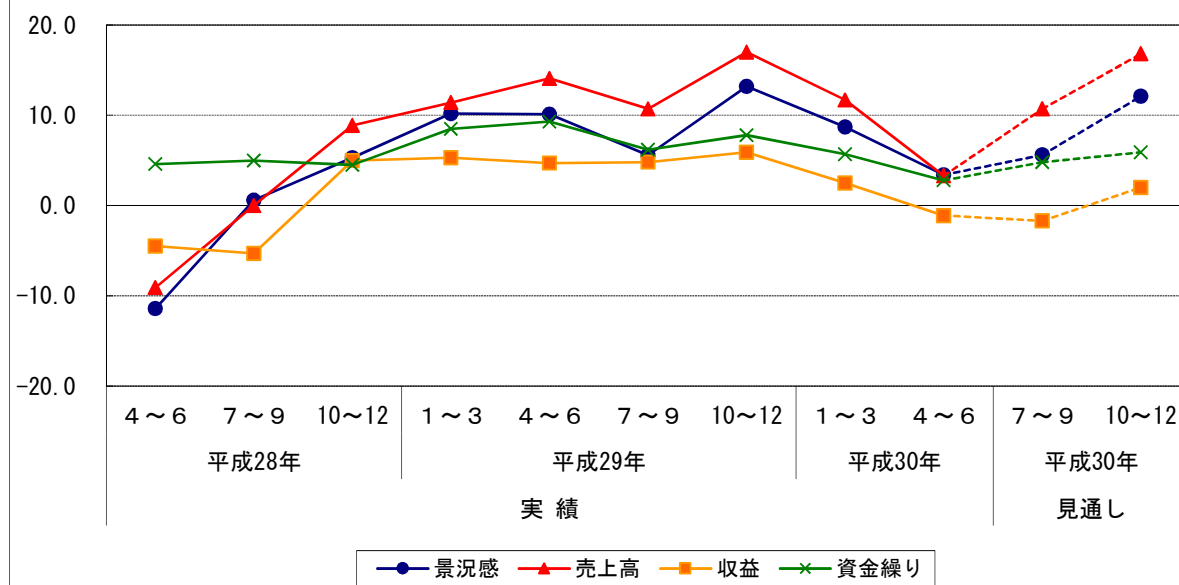
(1) 平成30年4～6月期の概況（前回調査比）

- ア 景況感： 5.3ポイント悪化、「好転」超幅が縮小した。
- イ 売上高： 8.4ポイント悪化、「増加」超幅が縮小した。
- ウ 収益： 3.6ポイント悪化、「減少」超幅が拡大した。
- エ 資金繰り： 2.9ポイント悪化、「好転」超幅が縮小した。

(単位：%)

			景況感	売上高	収益	資金繰り	
平成28年 (2016)	4～6月期	実績	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 4.5	4.6	
	7～9月期		0.6	0.0	▲ 5.3	5.0	
	10～12月期		5.3	8.9	5.0	4.5	
平成29年 (2017)	1～3月期		10.2	11.4	5.3	8.5	
	4～6月期		10.1	14.1	4.7	9.3	
	7～9月期		5.6	10.7	4.8	6.2	
平成30年 (2018)	10～12月期		見通し	13.2	17.0	5.9	7.8
	1～3月期			8.7	11.7	2.5	5.7
	4～6月期			3.4	3.3	▲ 1.1	2.8
	7～9月期	5.6		10.7	▲ 1.7	4.8	
	10～12月期		12.1	16.8	2.0	5.9	

九州の企業景況感BSI等の推移



注) 調査の概要

- 1) 調査対象：株式会社西日本シティ銀行の主要取引先661社（今回の回答社数357社，回答率54.0%）  
地域別回答企業：福岡県302社（構成比84.6%）、福岡県外九州各県55社（同15.4%）
- 2) 調査方法：アンケート方式
- 3) 調査時期：平成30年6月1日

※景況動向はBSI方式で表示：BSIとは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

## 企業景況

### 5 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）

#### (1) 九州・沖縄の業況判断（平成30年6月）

- ・全産業 3 四半期連続で悪化
- ・製造業 2 四半期ぶりに改善
- ・非製造業 3 四半期連続で悪化
- ・規模別では、大企業は悪化、中堅企業は改善、中小企業は横ばい

（「良い」-「悪い」、回答社数構成比%ポイント）

企業短期経済観測調査			業況判断D. I.					
			全産業	業種別		規模別		
				製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
平成28年 (2016)	9月	実績	11	3	16	16	16	8
	12月		14	8	17	16	16	14
平成29年 (2017)	3月		19	15	21	19	22	17
	6月		20	17	22	24	22	19
	9月		22	18	24	24	24	21
平成30年 (2018)	12月		21	19	22	29	23	19
	3月	20	18	21	29	22	17	
	6月	最近	19	20	18	24	23	17
	9月	予測	19	21	18	26	23	16

注) 1)回答期間:5月29日~6月29日

2)対象企業:九州・沖縄の企業 1,156社

3)平成30年3月調査において調査対象企業の見直しが行われた。長期時系列グラフ・データは、29年12月調査までの旧ベースデータと30年3月調査の新ベースデータを接続。

	対象	回答	回答率
製造業	387	386	99.7%
非製造業	769	768	99.9%
全産業	1,156	1,154	99.8%

